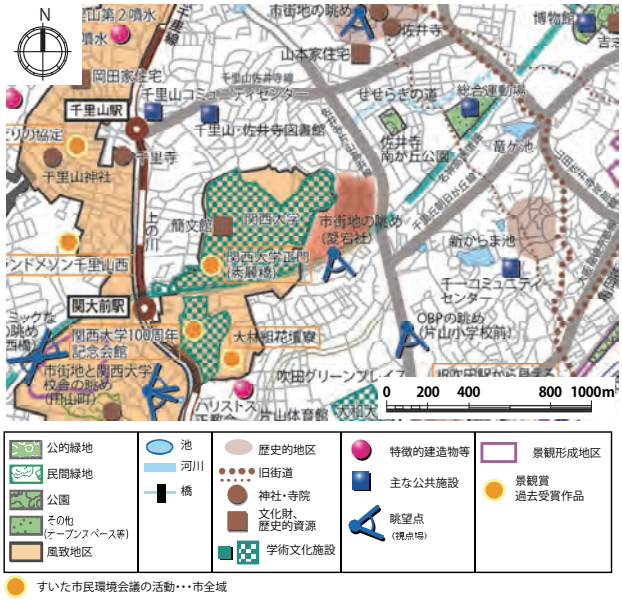
景域 21　上山手町界隈



景観特性

丘陵地にあり、細い路地が入り組んだ旧集落の景観

地形

丘陵地に位置しています。

歴史

古くから集落が形成されていました。愛宕社が小高い場所にあります。

旧集落の中には大きな門、蔵、生垣や庭木のある屋敷が、細く曲がりくねる道に沿って建っています。

土地利用

近年、戸建住宅や集合住宅も増えつつあり、集落の風情ある景観との調和が課題となっています。

都市活動・暮らし

集落の周辺には畑がみられ、暮らしの中で緑が目に映る環境となっています。

細い路地を歩けば、小さな鳥居と愛宕社へつづく階段が現れ、階段を上れば吹田のまちなみを見下ろすことができ、眺望を楽しむことができます。

旧集落の風情ある景観

愛宕社参道

景観まちづくり方針

畑の緑をまもり、集落の特徴を尊重した風情ある景観をまもり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

○緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
○斜面緑地の保全に努める。
○樹林・樹木の適正な維持管理に努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

○生垣や屋根などの連続性や統一性をつくり、まもり、はぐくむ。
○地形になじみ、集落の景観に調和する建物づくりに努める。
○敷際に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
○屋根の形態や色彩の誘導、緑化などにより、歴史あるまちの風情の保全に努める。
○眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

○壁面や高さ、色彩を調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
○名神高速道路の遮音壁や高架下などの緑化や修景に努める。
○田畑などの保全と景観の演出に努める。
○夜は帰宅する人を出迎えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
○地形の起伏を活かし、眺望景観の保全や形成を図る。
○誰もが眺望を楽しめる場として、眺望点の活用を図る。
○公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域　**景域 18，20，27，45**